

窪小学校 学校だより



大地

令和8年2月号

校長 指崎 邦久

先日、氷見で氷点下10度を記録した厳しい寒さの朝、学校に植えられているサザンカの葉が凍っていました。葉に蓄えた水分が気化し凍ったものだそうです。温度が上がると元のようにになると知り、サザンカの逞しさを感じました。窪っ子は、発見することが上手です。登校途中で見付け、大事に持ってきた氷を何人もの子供が見せてくれました。体育館の前では、雨どいの中を流れる水が凍って太い氷になっているところを見付けて、集まって観察していました。子供たちの豊かな好奇心を改めて感じました。



子供たちは学年のまとめや進級の準備を着々と進めています。自分のペースをつかんで練習問題に取り組む姿や、卒業生を送る準備に向けて知恵を出し合い、協力し合っている姿を目にし、ここまでの成長を感じます。

「2月は逃げる」と言われるように、あっという間に時間が経過しています。それぞれの場面を大切に、すべきことをしっかりとやり遂げてもらいたいと思っています。

ありがとうございました -学習参観-

2月15日(日)に、学習参観を行いましたところ、多数のみなさんにお越しいただき、子供たちの学習の様子を見てもらいました。学習参観の様子をご家庭で話し合わせ、4月からの成長を実感していただくとありがたいです。

また、体育館で行った学校コンサートにもたくさんの方に来ていただきうれしく思っています。このコンサートは、子供たちがふるさと氷見のよさを感じるとともに、世界に目を向ける機会にしてほしいという思いで企画しました。氷見第九合唱団のみなさんの素晴らしい合唱を中心に下の表のような構成で行いました。

あいにく、感染症の拡大予防のため、5年生は合唱で参加することはできませんでしたが、6年生が堂々と合唱したことや、会場のみなさんで校歌を歌ったことが、会場のみなさんや、子供たちにとってよい思い出になることを期待しています。

学校コンサートの内容

第一部	第九合唱団	ハレルヤ、ほらね
第二部	第九合唱団 6年生	ベートーベン作曲 交響曲第九番第四楽章「歓喜の歌」
第三部	会場全体	窪小学校校歌



生き生き窪っ子 いろいろな場面で生き生きと活動する窪っ子の様子を紹介します

1月28日(水)に6年生が、2月4日(水)に5年生がイオックスアローザスキー場へスキー学習に行ってきました。

6年生

昨年度に続いて2回目のスキー学習ということもあり、てきぱきと準備をしたり、短い時間で移動したりしていました。準備運動をしたり、活動場所へ移動したりする中で、インストラクターの方々とコミュニケーションをとって活動への期待を膨らませている子供や、技術を向上させようとしているのか、真剣にインストラクターの方の話を聞く子供の姿がみられました。

活動が始まると、去年の感覚が残っているのか、どんどん斜面から滑り降りていました。思うように止まったり、曲がったりできるようになり、明るい表情でスキーをする子供や、自分たちだけで乗れるようになったリフトで、友達と楽しく話をする子供がいました。

はじめは曇り空でしたが、午後には、晴れ間も見え、きれいな景色を見ることができたようでした。6年生にとっては最後の校外学習になりました。楽しい思い出になったことと思います。



5年生

初めてスキーブーツやスキーをはくといった子供が多くいました。インストラクターの方に手伝ってもらってスキーブーツをはく子供もいました。スキーを持ち運ぶ姿もおぼつかない様子でしたが、天候にも恵まれて何回も繰り返し練習しました。

平らなところを歩く子供たちや、自然と止まる斜面で滑る練習をする子供たち、すぐにリフトに乗って練習を始める子供たち、活動の内容はまちまちでしたが、どの子供たちも楽しそうに活動していました。

初めてスキーをする子供たちの上達は目を見張るものがありました。思いどおりに動かないスキーの操作に音を上げるのではないかと心配もしましたが、粘り強く練習に取り組み少しずつ止まったり曲がったりできるようになっていきました。

午後には、全員がリフトに乗って滑れるようになりました。斜面を思いどおりに滑り降りる表情はとても楽しそうでした。

子供たちの学習能力の高さに感心しました。



窪っ子集会

1月30日に、給食委員会、放送委員会が児童集会を行いました。給食委員会は、クイズを通して、給食が届くまでの努力などについて発表しました。放送委員会は、耳をすましたくなるような音についてのクイズを出しました。

興味関心を引く工夫された発表内容でした。練習の成果も感じられ、感心しました。

